

# 医療の教科書

岸陽伸

# 目次

第1章 西洋医学

第2章 東洋医学

第3章 外科手術

第4章 精神医療

第5章 怪我の治療

## 第1章 西洋医学

西洋医学とは、物質の観点に基づいて、診察・治療・確認を行う医学です。

生物は、身体・精神含む固体の全体でホメオスタシスを保っており、自然治癒を目指していくものです。

むやみに手術をしたりするものではありません。

衣食住のサポートをして、自然治癒するにこしたことはありません。

原子・分子の視点、生物の視点、化学の視点で治療を目指していくものになります。

原子・分子の視点の場合、分子が異常を持っている場合、その分子をどう排除するかが問題になってきます。

例えばカエルの目に異常出た場合、薬でその分子を治療できないかがカギとなってきます。

生物の視点の場合、DNA異常が無いかどうかと、細胞に異常が無いかが問題となります。

DNAとは、遺伝子を記録している物質のことをいい、

遺伝子とは、その個体を形作る1つのプログラムのことをいいます。

DNAは、治療する必要はありません。

遺伝子は、頸椎一番目に水素に保護されて保管してあります。

DNAの2本鎖は、A-T、C-Gが違い違いにあり、そのセットの、A、T、C、Gの並び方が遺伝情報となっています。

キメラができないのは、行数が合致しないことによります。

人が100行、

サルが90行、

哺乳類が80行、

鳥類が60行、

魚類が50行、

両生類が40行、

昆虫類が30行、

菌が20行、

ウイルスが10行です。

キメラを作ろうと思っても、プログラムのアポトーシス（目的）が合わず、ガンになるだけです。

生物の種類ごとに、必要な行数があるというだけでした。

化学的視点の治療なら、化学反応を計算するということです。

## 第2章 東洋医学

東洋医学には、気という概念があり、天の気、地の気、人の気を合流することが大切になります。

人には情報身体があり、天の気と地の気は中丹田で胸の中央で合流します。

上空の気が天の気で、地下の気が地の気、情報身体が人の気です。

天の木とは、宇宙をイメージして出る気で、1Hzです。

地の気とは、地下をイメージして出る気で、40,000Hzです。

天の気と地の気を合わせると20,000Hzになり、生体のバイオフィードバック（生体の自然な調整）が働き、健康になります。

人にとって正常な情報身体の大きさは、人体の1.5倍ほどの大きさで、他人のパーソナルスペースを侵害しないものになります。

普段から天の気と地の気を取り入れるには、宇宙と地のイメージをするしかなく、イメージできない場合は、漢方の夏なら天、漢方の冬なら地を取り入れ、パランを調整するしかありません。

ツボとは、押すと特定の周波数が流れ、その部位に気を流します。

経絡とは、人体の気の通る道のことを指し、経血とは、人体の気を出し入れする穴を指します。

### 第3章 外科手術

外科手術とは、傷病、または病気の人を、切除、消毒、復元することです。

ほうごうしても完全に治ることはなく、対立反応が起こります。

iPS、STAP、ReModering、Fineという技術がありますが、ほうごうしたとしても、化合しただけで、修復、再生、リモデリング、大丈夫した訳ではありません。

水素とリン酸が結合した物質を身体に振りかけると、(PS) 身体が修復されます。この現象を、胚化といいます。

分化 (DNAの通りに身体を修復する) が起こるので

STAPとは、細胞そのものを再生するもので、酸素 (O) とリン酸 (P) が結合したものを、身体に振りかけると、細胞が再生します。(OP)

rMD（リモデリング）とは、リン酸とナトリウム（Na）が結合した物質で、直ちに全身を再合成します。

Fine（大丈夫）はただのリン酸で、不整合な部位を排泄します。

## 第4章 精神医療

人間には、心の器というものがあり、情感で満たすことが出来ます。

皿のように、器が小さいひともいれば、ボウルのように、器が大きい人もいます。

優しくされたときに、心の器に情感が注がれますが、怒られたり、けなされたりすると、心の器が壊れることがあります。

シュガーorスパイスとって、どちらで器を満たしたとしても構いません。

心の器を壊さないようにすることが肝心です。

冷凍食品を食べたときに、寂しくなるのは、人の情感の波がこもっていないからです。

最近の冷凍食品は、人の気を入れているようです。

サバサバした人は、幸運を掴みにくく、逆に慎重な人は、幸運をつかみやすくなります。

これを、心の油田効果といいます。

デザートを食べたときに、幸せになるのは、糖によって、幸福物質であるセロトニンが出るからです。

タンパク質は、学習効果のあるアドレナリンが出ます。

炭水化物は、経営効果のある、ノルアドレナリンが出ます。

ビタミンを摂ると、癒し効果のあるセロトニンが出ます。

ミネラルを摂ると、調整効果のあるヒスタミンが出ます。

脂質を摂ると、運動効果のあるドーパミンが出ます。

コーヒーは、ミーティング効果といって、人と人とのコミュニケーションに効果を発揮します。

紅茶は、紳士淑女効果と言って、冷静、沈着な判断に効果を発揮します。

お酒は、カクテルパーティー効果といって、近くの人  
の声を聞き取りやすくする効果を発揮します。

セロトニン阻害薬とは、脳の脳下垂体を水分で満たして、すべてのホルモンを、取り込むのを阻害し、ホルモンの効果を高めるようにする薬です。

逆に向精神薬とは、特定の物質が入っていて、特定のホルモンの効果を高めようとするものです。

神経には、パイプのようなものがあり、ホルモンを全身に流すことができます。

ホルモンは特定の振動（波）を出し、使い切ると、消滅します。

水は、浄化を促し、（Reader）

酸素は、生命を促します。（Reliver）

つまり、精神医療とは、気とホルモンのバランスを整え、心の器に優しさor教育を入れてあげる作業になります。

## 第5章 怪我の治療

怪我とは、傷、打撲、骨折、流血、損傷のことを指し、ひどいときには脳、内臓の損傷にまで至ることがあります。

脳や頸椎を損傷すると、死に至ることがあります。

脳は器官に命令をくだし、頸椎は遺伝子を保管していて、アポロンという2~4Hzの低周波で、全身に命令とDNAの胚化を行っています。

振動の様相（形）で、情報を伝えることができます。

人間の波は20m先まで届き、近くにいる人は、ホメオスタシス同調という現象が起こります。

学習を共有するのに、物理空間で場を共有した方が、学習効率が良いのは、このホメオスタシス同調によるものです。

脳と頸椎が、人間のコアとなるものだと分かると思います。

つまり、脳と頸椎が損傷したら、存命期間＝ハビタブルゾーンの間とにかく気功で脳と脊椎を修復・再生・rMD、fineをすばやく出来るかが問題となってきます。

人間の意識は、脳と脊椎がセットの時に発生し、両方または片方を失うと魂とか、幽霊のようにその辺りに滞留します。

つまり、幽霊になっても、人間の身体を、再生すれば良いのです。（生き返るのです。）

ALMIGHT（iPS、STAP、ReModering、Fineの総称）を生成するには、長方形の波を気を出せばOKです。

宇宙には、情報空間と物理空間があり、自我（意識）にも、アポトーシス（プログラム）が保管されています。